

【報道関係者各位】

2026年3月12日

【国内先行事例】 経済産業省推進の「契約学科制度」として、新潟大学大学院に「フードテック・イノベーションプログラム（仮称）」を2028年4月創設～産学連携で食の社会課題解決を担う高度人材を育成、2035年までに100名以上輩出を目指す～

食品のサブスクリプションサービスを展開するオイシックス・ラ・大地株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：高島 宏平、以下「オイシックス」）と、国立大学法人新潟大学（所在地：新潟県新潟市、学長：染矢 俊幸、以下「新潟大学」）は、2028年4月、新潟大学大学院に新たな学位プログラムとして「フードテック・イノベーションプログラム（仮称）」の設置に向け、共同で準備を開始しました。

本プログラムは、新潟大学が2026年4月に改組する「大学院総合学術研究科」への設置準備を進めております。また、本プログラムは、経済産業省が新たに推進する「契約学科制度」として、国内で先行して設置を表明する事例となります。

契約学科制度のイメージ

産業界のリソース投入
(資金、実務家、ビジネスの知見)



■ 2035年までに、食産業にイノベーションをもたらす100名以上の高度人材輩出を目指す

昨今の気候変動や食料安全保障、健康課題など、食をめぐる社会課題は世界規模で顕在化・複雑化し、さまざまな技術開発が進む中、古来からある発酵技術を含め、日本の「食の技術」は世界から高い注目を集めています。現在、政府が掲げる成長戦略に、フードテックは「17の戦略分野」の1つとして位置づけられています。科学とビジネスが近接する時代において、大学と産業界が連携した人材育成は、日本の競争力を左右する不可欠な取組であり、多くの社会課題解決につながる取組であると考えます。

こうした背景を踏まえ、オイシックスと新潟大学は、共同で「フードテック・イノベーションプログラム（仮称）」の創設を進め、社会課題の解決と産業イノベーションを同時に牽引し、2035年までに世界の食の未来を切り拓く高度人材を100名以上輩出することを目指します。

フードテック・イノベーションプログラム（仮称）の概要（いずれも予定）

名称：新潟大学大学院 総合学術研究科 フードテック・イノベーションプログラム（仮称）

開設時期：2028年4月

課程・定員：博士前期課程（修士課程）2年・10名/学年

対象者：学部卒業生、社会人、国内・海外問わず

開設場所

- ① 新潟市都心部（「にいがた2km」内）に設置するフードテック特化型の新拠点（新潟市中央区）
- ② 新潟大学 五十嵐キャンパス「食と健康のInnovation Hub」（新潟県新潟市西区）

■大学に産業界のリソースを結集する新たな産学連携の形

【学びの特徴：社会課題をビジネスへ変える「実践型カリキュラム」】

本プログラムで、新潟大学は食科学領域における最先端の研究、食関連のビッグデータ・AI、高度な分析設備の使用により、社会課題の解決をビジネスへと昇華させる実証フィールドを構築します。

また、カリキュラムの中核には、実際の企業課題に基づく事業計画策定実習や長期インターンシップを配置するとともに、オイシックスをはじめ、国内外の第一線で活躍するスタートアップ型企業人材を客員教授等として招聘し、フードテック・イノベーションを推進する人材を育成します。

【学修を支える仕組み：挑戦を加速させる「多様なキャリアパス」】

修了後は、オイシックスの他、参画企業の経営幹部（CXO）候補としての採用のほか、在学中に策定した優れた事業計画に対しては、ベンチャーキャピタル（VC）による出資等を通じた起業支援も実施するなど、多様な挑戦の出口を用意します。

上記のように産業界のリソースを大学教育の現場に結集させることで、単なる知識の習得に留まらない、次世代の食に関連する産業を担うリーダーを育成します。

設立に向けたロードマップ（2026 → 2030）



【契約学科制度の定義】

新しい産学連携の形として、産業界で活躍できる人材を育成するため、産学が協力して設置・運営する学位の授与を行う教育プログラム

※出典：経済産業省：第11回産業構造審議会イノベーション・環境分科会 イノベーション小委員会
2026.1.28（資料抜粋）

国立大学法人新潟大学について

国立大学法人新潟大学は日本海側の大規模総合大学として、長い歴史をもって地域の拠点の役割を果たしてきました。近年では、国の3つの大型プロジェクト（J-PEAKS、FLAGs、地方大学・地域産業創生交付金事業）に連続して採択され、研究大学として大きな改革を進めています。特に「食と健康」領域は、この3事業が重なる全学の重点領域として、分野横断の総合知に基づく研究力強化を進めています。地域の食品産業や自治体等との連携を基盤に、産学官共創による拠点形成、研究成果の社会実装、実践的な次世代の高度専門人材の育成を推進しています。

オイシックス・ラ・大地株式会社について

オイシックス・ラ・大地株式会社は、「Oisix」「らでいっしょぼーや」「大地を守る会」の国内主要ブランドを通じ、安心・安全に配慮した農産物、ミールキットなどの定期宅配サービスを提供しています。子会社に、事業所、学校などで給食事業を展開する「シダックスコントラクトフードサービス」、病院、高齢者施設、保育園、幼稚園などで給食事業を展開する「シダックスフードサービス」、買い物困難者向け移動スーパー「とくし丸」、米国でプラントベース食材のミールキットを展開する「Purple Carrot」などがあり、食の社会課題を解決するサービスを広げています。また、「サステナブルリテール」（持続可能型小売業）としてSDGsに取り組み、サブスクリプションモデルによる受注予測や、ふぞろい品の積極活用、家庭での食品廃棄が削減できるミールキットなどを通じ、畑から食卓まで、サプライチェーン全体でフードロスゼロを目指しています。